

民主青年新聞

●ホームページ www.dylj.or.jp ●Eメール minsin@dylj.or.jp

見どころ

乗客の安全は二の次? 「ライドシェア」解禁(3面)
歴史からパレスチナ問題を考える (6、7面)
インボイスから日本の政治と暮らしが見える(10、11面)

各地で歴史的拡大到達!

第47回全国大会目前。民青同盟は拡大目標の2000人を大きく上回る2509名という到達を築いています(11月18日夕方時点)。東京都委員会と北海道委員会は、青年に分け入った対話に積極的に踏み出し、歴史的な拡大数となっています。1面では東京と北海道で街頭宣伝を通じて新たに加盟した青年に、2面では実践の先頭に立ってきた同盟員に取材を行いました。(1面の青年は仮名、栗山さつき記者)

▶6月に都内で行われた若者憲法集会後のデモ行進。行進には多くの同盟員が参加し、憲法を生かした政治にしようという声を上げた



▶民青が力を合わせている若者憲法集会実行委員会が行った街頭宣伝のようす(3月19日、所沢)



新加盟者・拡大励む同盟員の「声」

みんなと学んで活動したい

北海道の小池唯さんや感想を話せて、共感して(24)は「普段からニュースを見ていて、いろいろなことに興味や関心がある」と話します。民青での活動について、最初は難しそうだと感じましたが、「民青ではいろいろなことを学べるし、人の役に立っていることを知り加盟した」と言います。

自分の選択に自信持たい

小池さんは初めて班会に参加したときのことを振り返り、「私と同じ年代の人が多くて、学ぶだけでなく、みんなとニュースの話、民青の加盟呼びかけ文を読

小池さんに、これから民青で「ただ働いて、食事を食べて、寝るだけで自分の生活と政治の関係性についてよく学んでみたい」という思いを話すと、「消費税や奨学金や貧困の問題、イスラエルの問題など、全部知りたいし学んでいきたい」と言います。やってみようという気持ちで、「人に助けてもらったこと、募金活動やボランティア活動を通じて人の役に立ちたい」と話しました。

田中さんはさっそく学習会に参加して、「楽しそうだからとあず参加してみよう」と話しました。

民青を通じて政治変えたい

3カ月前ほど前に加盟した藤田光さん(23)は「岸田政権になってから、増税などの悪いニュースばかりになっていて、以前からそんな政治に不満を持っていた」と話します。そんな中、民青の活動を通じて政治を変えたいという思いが、多くの青年を仲間に加えていきました。

▶8月に長崎で開催された「原水爆禁止2023年世界大会」に参加し、平和への思いを強めている



藤田さんは、同年代の人たちが政治について勉強したいという思いが、多くの青年を仲間に加えていきました。藤田さんは「敵基地攻撃能力や軍拡について、これまでお金を使い過ぎた」と話しています。藤田さんは「今の日本の政治に若い人たちの声を反映させられるようにしたい」と話しています。